

## 巡視船艇整備事業 評価書

新規事業採択時評価

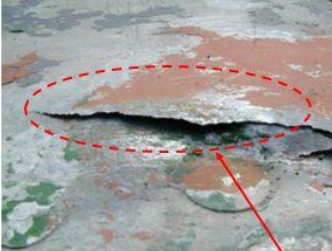
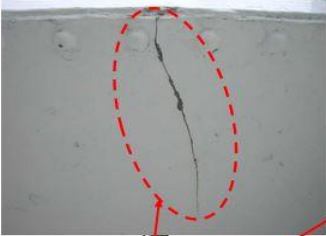

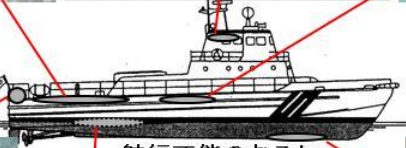
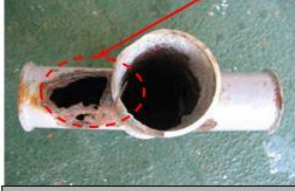
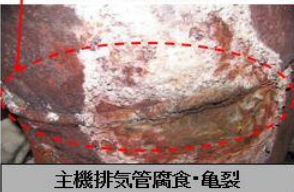

平成28年度									
事業名(箇所名)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">大型巡視艇(23m型)1隻建造</td> <td style="width: 25%;">担当課 船舶課</td> <td style="width: 25%;">船舶課</td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">事業 主体</td> <td rowspan="2" style="width: 25%;">国土交通省 海上保安庁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>担当課長名</td> <td>上園 政裕</td> </tr> </table>	大型巡視艇(23m型)1隻建造	担当課 船舶課	船舶課	事業 主体	国土交通省 海上保安庁		担当課長名	上園 政裕
大型巡視艇(23m型)1隻建造	担当課 船舶課	船舶課	事業 主体	国土交通省 海上保安庁					
	担当課長名	上園 政裕							
事業内容	大型巡視艇(23m型)1隻の建造及び就役								
配備管区及び主な活動海域	調整中								
整備期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">開始</td> <td style="width: 33%;">平成29年度</td> <td style="width: 33%;">完了</td> <td style="width: 33%;">平成29年度</td> </tr> </table>	開始	平成29年度	完了	平成29年度				
開始	平成29年度	完了	平成29年度						
総事業費(億円)	約9億円								
運用開始年度	平成30年度								
耐用年数	20年								
本事業に関連する事業	老朽巡視艇の解役								
政策(施策)目標	政策目標:安全で安心できる交通安全の確保、治安・生活安全の確保 施策目標:船舶交通の安全と海上の治安を確保する								
事業の効果分析	<p>(1)必要性・緊急性</p> <p>①大型巡視艇(23m型)整備の必要性                      (ア)大型巡視艇(23m型)は、海上交通の安全を確保するため、主としてふくそう海域における航路しよう戒に従事し、海上交通センター等と連携して航行船舶に対する情報提供、指導等を実施することから、老朽・旧式化した巡視艇を速力、監視能力等を向上させた大型巡視艇(23m型)に代替整備する必要がある。また、大規模災害が発生した場合は湾内等に大量の漂流物が散乱し、海上交通が著しく制限されるだけでなく、陸路、空路からの交通手段が遮断される可能性が高いことから、災害対応能力を強化した大型巡視艇(23m型)を整備する必要がある。</p> <p>(イ)甚大な被害が生じるとされる南海トラフ巨大地震及び首都直下地震は今後30年以内に発生する可能性が極めて高いと予想されており、東日本大震災の教訓を踏まえ、漂流物等が広範囲に散乱した海域及び港内においても海上からの災害救援物資を迅速・安全に搬送するための速力、救援物資等輸送能力等の災害対応能力を強化した巡視艇へ代替する必要がある。</p> <p>②大型巡視艇(23m型)整備の緊急性                      (ア)現有の大型巡視艇(23m型)はいずれも、建造から30年以上経過しているため、船底破口や主機関の故障等が頻発しており、乗組員の安全性が著しく低下している状況にある。</p> <p>(イ)また、代替整備が遅れることにより、基幹装備品の故障や腐食による船体損傷等が増加し、迅速な現場進出や災害対応等本来の任務を全うすることができない。さらに、長期間を要する臨時修理が頻発していることから、一刻も早く大型巡視艇(23m型)を整備する必要がある。</p> <p>(2)事業の効果</p> <p>本事業で大型巡視艇(23m型)を整備することにより、期待される業務上の効果は以下のとおり。</p> <p>① 速力の向上により、対象船の的確な追尾、現場海域への回航時間の短縮ができる。</p> <p>② 夜間監視装置により、夜間取締能力の強化、監視・探証が可能となる。</p> <p>③ 防災情報等表示装置により、付近航行船舶に対し、昼夜を問わず視覚的に意思伝達が可能となる。</p> <p>④ 救援物資用スペース、災害対応用デッキを装備することにより、物資等の緊急輸送等の災害対応能力を強化する。</p> <p>(3)主たる効果の抽出</p> <p>整備しようとする大型巡視艇(23m型)は、災害対応能力、操縦性能、夜間監視・探証能力等が強化されており、南海トラフ巨大地震等による大規模災害発生時の救援等の事案対応体制の強化を図ることができる。</p> <p>事業の総合評価 (第三者(外部有識者)委員会の意見等)</p> <p>事業内容及び評価結果が適当であると判断。</p>								

【大型巡視艇(23m型)1隻】



【23m型巡視艇の老朽化状況】

23メートル型巡視艇の老朽化状況

上部甲板の金属疲労	上部構造物亀裂	燃料取入管の腐食
		
船体強度低下のおそれ		油流出のおそれ
曳航救助等に支障のおそれ		浸水のおそれ
		
クロスビット腐食	主機排気管腐食・亀裂	船底破孔